

難波田城だより

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース—

平成 25年 3月 1日 発行
編集・発行/富士見市立難波田城資料館
第 55 号
NEWS from NANBATAJO

サグラダ・ファミリア（聖家族贖罪教会）

市民学芸員 池田 恵寿

私が初めてスペインのバルセロナを訪れたのは、今から 40 年前の 1973 年です。建物の大きさ、崇高さ、神秘さに魅せられました。以来、ヨーロッパへ出張のたびに現地を訪れることになりました。

アントニオ・ガウディ（1852-1926 年）、彼の残した建築物は、グエル公園、カサ・ミラ、カサ・パトリヨなど、十数件ですが、全て世界遺産となっています。

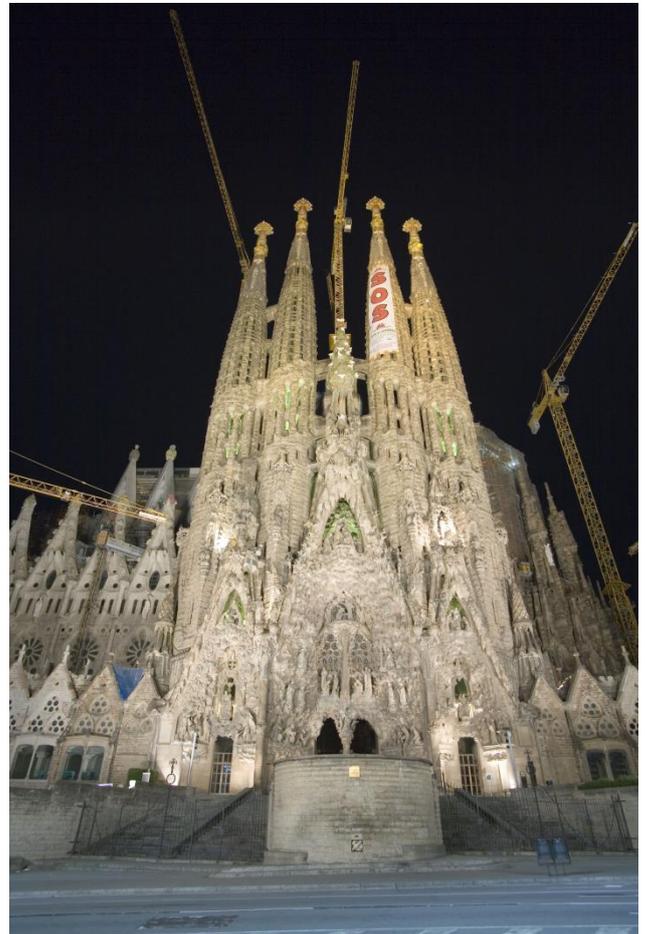
サグラダ・ファミリアは、彼が 31 歳の時に建築を始め、自分の生存中に完成出来ると確信していたと思われませんが、結果的には全工程の 10 分の 1 にすぎませんでした。建物は全て石と陶器のみで創られ、要所は彫刻で飾られています。

現地で設計主任をつとめる日本人、外尾悦郎氏がいます。京都市立芸術大学を卒業後、25 歳の時にバックパッカーついでスペインに渡り、未完の建築物に出会い、ガウディに心酔しました。以後 36 年間、ガウディの創造の後を追っている彫刻家です。私は稀有な卓越した芸術家だと思っています。

サグラダ・ファミリアは、一時は完成まで 300 年とも言われましたが、昨年、ローマ法王の訪問を受けて建築が一段と早まり、現在の目標はガウディ没後 100 年、すなわち 2026 年で設定しているそうです。

建築費は全て献金と入場料でまかっていますが、スペインの金融問題やバルセロナのあるカタロニーヤ地方の独立運動などの影響も気になるようです。

現在すでに完成した 172m の尖塔 6 本が最終的に 18 本になると言われています。残された 12 年で完成する事を私は確信しています。



サグラダ・ファミリア <http://sozai-free.com/read.html> より



ちなみに世界遺産の数は、イタリアが 47、スペインが 43 ヶ所です。近隣のギリシア、フランス、エジプトを含めて、地中海諸国は観光、歴史遺産の宝庫です。

こんなお宝がありました 資料館編

唐箕（とうみ）と万石（まんごく）

日本の伝統的な農業は豊作を「五穀豊穡」というように、穀類の生産が中心となっていました。米・麦等の穀類の収穫作業は脱穀に次いで調整・選別作業が欠かせません。その過程では「唐箕」と「万石篩」（まんごくぶるい）が活躍していました。共に江戸時代中期に始まり昭和三十年代に農業機械が導入されるまで全国的に使われていました。

唐箕はその名のとおり中国に起源を持つものとされ、わが国では江戸中期から使われたとされています。他方、「万石篩」は単に「マンガク」或は「千石篩」「万石通」（まんごくどおし）等とも呼ばれ、矢張り江戸中期に国内で開発されたようです。

ごくありふれた身近な農具ではありますが、約三世紀にわたり農業を支えてきたことに注目したいと思います。

（西尾 勉）



【唐箕】
円形部分に内蔵された扇の回転による風力でゴミ・シイナを飛ばして選別する。



【万石】
上の漏斗の口を調節しながら斜めに置かれた網に流し粒の大小を選別する。網を取替えて精米と糠の選別にも使われた。

おもしろ・なつかし体験③

かわいいおひな様づくり

このコーナーは、難波田城公園での体験事業やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

難波田城のお堀の水がぬるみ、周りの田んぼに菜の花が咲き、庭の梅の花が咲く頃、すっかり春ですね。そんな時、思わず口ずさむのは幼い頃に聞いた“お花をあげましょ、ももの花♪～今日は楽しいひな祭り♪” そう、3月のひな祭りです。

そこで、今回はフィルムケースで簡単に作れる、楽しくかわいいおひな様の人形を紹介いたします。材料も身近なものばかりですので、家族みんなで手作りのかわいいおひな様と一緒に作って、祝ってあげてください。良い思い出になるとと思います。



〈作り方〉

- 1、か お ケースを下向きにし、白い紙（2.5cm×10cm）を貼ります
- 2、着 物 千代紙（3 cm×11 cm）をふたのギリギリまで貼ります
- 3、前 髪 黒い紙（3 cm×4 cm）を縦にしてケースにのり付け
- 4、後ろ髪 大きな黒い紙（8 cm×7 cm）はぐるりと貼る、おびなの髪は伸ばさないで貼る
- 5、顔を描き、髪にかざりをつける

できたらフタをする前におもしろをいれます。飴を入れると良いかもしれません。

（菅野正道）



左から、1、2、3番



完成作品

人の創った道具★人の使った道具

ベッドタウンの制服史

春季企画展「ベッドタウンの制服史」を3月16日から開催します（裏面参照）。

平成22年の秋、開館10周年記念展「10年間のいたきもの」の展示準備で資料台帳をめくっていたとき、意外な文字が目にとまりました。「市立東中学校の制服」とあります。現存の市立中学校の、約10年前の学生服です。デザインも変わっていません。

当館では、民俗資料として多くの衣服を収蔵していますが、ほとんどは和服で、一部が戦前の洋服です。戦後の洋服は指折り数えるほどしかありません。産業化して地域性が乏しい衣服を地域資料として保存する意義は薄く、しかも、あまりにも多様で、保存し始めればきりがありません。しかし、学校制服は、各校どこかしらを違えている固有のものです。地域資料として保管しなければ将来に禍根を残すでしょう。地域の公共機関の制服についても同様です。

富士見市域の戦後の歴史を代表する出来事は、近郊農村からベッドタウンへの転換です。人口の急増により多くの学校や幼稚園が新設され、病院などが築かれ、スーパーや外食産業が進出してきました。近年は社会の高齢化により介護施設が急増しています。これらの施設の多くは制服を定めています。

今回の展示は、「制服」（ユニフォーム）に焦点を当てることで、富士見市の歴史を振り返るを試みました。一方で、制服の歴史は日本の近代社会史の写像ともいえます。制服のあゆみをとおして、日本の近代を別の観点から見つめ直していただく機会となれば幸いです。

中学校の制服

市立中学校6校のうち、4校が学生服とセーラー服、1校が学生服とブレザー、1校がブレザー（以前は学生服とセーラー服）を制服（または標準服）に定めています。



今回の展示のきっかけになった東中学校制服

このコーナーでは、当館所蔵の資料を紹介します。今では使われなくなった道具からわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。



勝瀬中学校制服

市立中学校6校のうち、4校（富士見台、東、勝瀬、水谷）が学生服とセーラー服



本郷中学校 市内で2番目の制服、学生服とブレザー（スーツ）



西中学校 学生服とセーラー服だったが、1992年にブレザーに変えた



セーラー服のラインの違い

【左上】富士見台（濃紺地白線） 【右上】東（濃紺地白線）

【左下】勝瀬（青地白2本線） 【右下】水谷（紺地赤線）

学生服は校章入りのボタンのみ違うが、セーラー服は色やラインがそれぞれ異なる

市役所の事務服

市役所（町役場）の事務服は、昭和30年代から平成4年まで3～5年おきに支給されました。「制服」ではなく「福利厚生としての貸与」だったため、デザインのわかる書類が残っていません。職員・元職員の記憶とわずかな実物で変遷の復元を試みました。



男性用（昭和60年ごろ）

ボタンに市章入り。市制施行直後は緑のブレザーに黄色のネクタイだったこともある

女性用夏服（昭和50年ごろ）

白地に水色のストライプ。冬服も支給された。デザインは更新のたびに変わり、最後は職員アンケートを参考にして決定した

春のイベント予定

平成 25 年春季企画展 「ベッドタウンの制服史」

3月16日(土)～5月12日(日)

会場／資料館特別展示室

富士見市が都市化していく中で多くの施設が作られ、それぞれが独自の制服を採用して街角を彩りました。日本社会の近・現代化と制服の関わりを見ながら、地域の歴史をふりかえります。

入場料／無料。

主な展示資料／市役所で使っていた事務服、市内中学校、幼稚園などの制服やその写真、市内各種事業所の昔の制服の写真など

ちよこつと体験「昔の着物を着てみよう」

野良着や羽織などを着て、ちよこつと昔の気分を味わってみませんか。子ども用も大人用もあります。

と き／3月30日(土)・31日(日)の午後1時～3時

場 所／難波田城資料館 講座室

参加費／無料

申込み／当日の時間内にお越しください。※順番待ちをしていただく場合もあります

協 力／和道文化着装協会

企画展関連講演会

「学校制服の文化史」

学校制服は、学校が「着せたい服」と、生徒の「着たい服」のせめぎあいから変遷を遂げてきました。着用者の主体性に注目した最新の研究を踏まえて、学校制服の歴史を語っていただきます。

と き／3月23日(土) 午後2時～4時

定 員／30人(申込み順) 参加費／無料

会 場／難波田城資料館 講座室

講 師／難波知子氏(お茶の水女子大学助教、『学校制服の文化史』著者)

申 込 み／資料館に直接又は電話で

難波田城公園まつり

と き 6月2日(日)

午前10時～午後4時

※詳しい内容は、広報などでお知らせします。

ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

3月24日(日) 草もち

4月28日(日) かしわもち

5月はお休みです。

※販売は午前11時から。売り切れ次第終了です。

ゴールデンウィーク

(4月27日～5月6日)

イベント案内

よろいを着てみよう、紙のかぶとづくり(有料)、よろいのペーパークラフト(有料)、コイノボリづくり、五右衛門風呂入浴体験(要水着・タオル)、紙芝居など、さまざまなイベントを行います。

詳しくは、4月、5月のイベント案内をご覧ください。

花ごよみ

*ウメ(3月) *コブシ(4月)

*サクラ(4月) *フジ(4月)

*スイレン(5月) *ハナショウブ(5月)

*アジサイ(6月) *ハス(6月)

<閉門時間変更のお知らせ>

4月から9月の間、公園の閉門時間は午後6時になります。資料館と古民家は午後5時までです。



編集・発行／富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1 Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

富士見市役所公式ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

◆資料館休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜日・日曜日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時◇

公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)